

病院における官民統合のモデルケース！ 川西市立総合医療センター整備事業における CM 業務 2023 年度 CM 選奨を受賞しました



CM 選奨とは

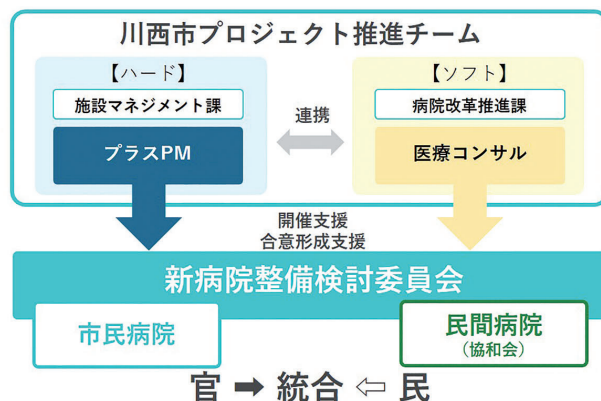
日本コンストラクション・マネジメント協会が年に一度コンストラクション・マネジメント（CM）の普及発展と健全な建設生産システムの再構築、および倫理観を持ったプロフェッショナル育成に資することを目的に、国内外における CM 事例を幅広く募り、優れた成果をあげた事例を表彰する制度です。

参考：日本コンストラクション・マネジメント協会

「川西市立総合医療センター整備事業における CM 業務」プロジェクト概要

民間医療法人を指定管理者として公立病院と統合することにより、経営改善を図った事業です。

発注者	兵庫県川西市
計画地	兵庫県川西市
用途	病院
規模・構造	RCST 工法 / 地上 9 階、塔屋 1 階
延床面積	36,619.14 m ²
病床数	405 床



『地域医療への想い』を実現する公立と民間の病院統合事業

川西市立総合医療センターは、公立と民間病院統合の先駆的事例であり、加えて公立では珍しい全室個室の病院です。2 病院の統合が決定したことの背景には、川西市様はもちろんのこと、市立川西病院様、指定管理者である協和会協立病院様関係者達の『地域医療を支えたい』という強い想いがありました。

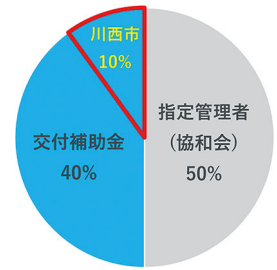
当社は基本計画段階から参画し、関係各所の想いを汲み取りながら、合意形成支援、デザインビルド方式に対する技術支援、スケジュールと予算のマネジメント等を行いました。円滑な合意形成が功を奏し、目標スケジュール・金額内で皆様の想いを実現した病院を無事竣工することができました。

詳細はこちら



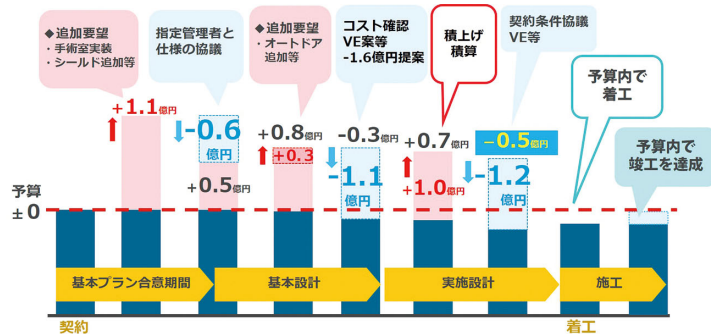
十 プロジェクト3つのポイント

- + 関係各所の想いを汲み取った合意形成支援
- + 予算内に納めるだけでなく、開院後の運用も見据えた支援
- + 事業遅延の回避と早期開院



十 プロジェクトの背景と特徴

川西市の公立病院であった市立川西病院(官)は老朽化と利用者の利便性、医師確保の観点から建替えを必要としていました。しかし、経営健全化団体となっていたことから建替え資金の調達が困難でした。そこで、市は**指定管理者制度を採用**し、医療法人協和会(民)への市民病院の運営委託を決定しました。これは官・民の双方にメリットがあり、制度の活用により建設費に対する**市の実質的な負担総額を約10%**に、指定管理者の負担総額を50%に抑えることができます。ただし、**事業遅延が起これば、発生する1か月当たり数千円もの損害金は市の負担**となる可能性もありました。そのため、**早期に新病院を開院させ病院運営の赤字から脱却**する必要があります。そこで、市は最も工期短縮できるデザインビルド方式を採用し、その技術的補完として当社を採用しました。



各段階のコスト調整に伴う建設費推移

官・民、双方の想いを確認

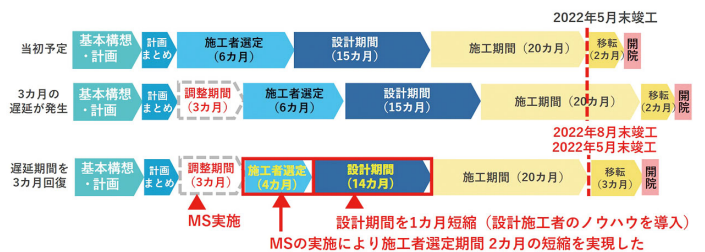
市の意向を把握しつつ、指定管理者の考えも個別に確認し、運用効率の向上とコスト削減の両立案を提案しました。

コストマネジメントサイクルにより予算内竣工

設計開始から竣工までのコスト管理を徹底し、早期に課題を把握、解決に向けたコスト削減手段を提案しました。加えて、コスト調整を行う会議体を設けることにより、各段階で予算を超過するたびに調整と対策を行えました。

突発的な課題によるスケジュール遅延にも対応

プロジェクトの進行中、事業費縮減の方針が市の内部よりあがったため調整に時間を要し、当初スケジュールが3か月ずれ込みました。それに対し当社は、マーケットサウンディングの提案と設計施工者のノウハウを導入可能な仕組みの構築を行いました。さらに、設計施工者のノウハウも導入することで、設計施工者選定期間を2か月、設計期間を1か月短縮しました。



プロジェクトの最適化



新病院の内装